

平成28年6月28日（火）

建設工業新聞 第14面

住宅地、商業地ともやや良好

石川県不動産DI調査公表

鑑定士協・宅建協

石川県不動産鑑定士協会と石川県宅地建物取引業協会は、不動産DI調査（石川県における土地価格と不動産取引動向に関する調査）を毎年2回実施することにし、27日、第1回目の調査結果を発表した。

石川県全体のDIはプラス13・0ポイント、特に金沢市のDIはプラス18・0ポイントが県全体のDIに影響を与えている。予測値は県央地区においてもマイナス2・1ポイント（金沢市はプラス2・1ポイント）となり、弱めの回答が多くみられた。

県全体の不動産市場の動向は、土地・新築戸建は実感値はプラス3・9ポイントやや良好。予測値はプラス2・3ポイントやや悪化した。マンションの実感値はマイナス21・3ポイントと低調。予測値はマイナス13・7ポイントやや悪化。中古住宅は、実感値はマイナス0・6ポイントやや低調。予測値はプラス1・9ポイントやや改善した。

それによると、住宅地は実感値はプラス0・5ポイントやや良好。予測値はマイナス9・2ポイントと悪化した。県央地区のDIはプラス45・7ポイント、特に金沢市のDIはプラス58・5ポイントが突出しており、県全体のDIを押し上げている。半年後もDIはプラスを維持している。北陸新幹線開業の影響は2年目である今年も継続していると分析。

商業地の実感値はプラス23・6ポイントやや良好。予測値はマイナス2・3ポイントと悪化した。県央地区のDIはプラス45・7ポイント、特に金沢市のDIはプラス58・5ポイントが突出しており、県全体のDIを押し上げている。半年後もDIはプラスを維持している。北陸新幹線開業の影響は2年目である今年も継続していると分析。

それによると、住宅地は実感値はプラス0・5ポイントやや良好。予測値はマイナス9・2ポイントと悪化した。県央地区のDIはプラス45・7ポイント、特に金沢市のDIはプラス58・5ポイントが突出しており、県全体のDIを押し上げている。半年後もDIはプラスを維持している。北陸新幹線開業の影響は2年目である今年も継続していると分析。

商業地の実感値はプラス23・6ポイントやや良好。予測値はマイナス2・3ポイントと悪化した。県央地区のDIはプラス45・7ポイント、特に金沢市のDIはプラス58・5ポイントが突出しており、県全体のDIを押し上げている。半年後もDIはプラスを維持している。北陸新幹線開業の影響は2年目である今年も継続していると分析。